

# 大空 (生徒・保護者向け) 9号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年6月12日(金)

## 未知の我を求めて—焦らず、諦めず、全力をつくそう—

### □本日の概要

- 進路学習は探究的な学習と似ている。疑問を持ちながら様々な情報を収集し、多くの体験を重ねながら、ループ状に変化していく。
- 中学校段階は「未知の我」である。感性のアンテナの感度を上げ、「全力」でやってみてほしい。
- 高校になると夢を成績で限定しがちだが、まずは夢を追いつけて欲しい。好きなことなら努力できる。
- スランプ状態でも努力を続ければ溶解のグラフのように必ず急上昇する時がくる。
- 創設の言葉の精神は「全力」であるが、急いではない。焦らず、諦めず、努力を継続し、未知の我を求めよう。

### □生徒の成長の姿(中学編)

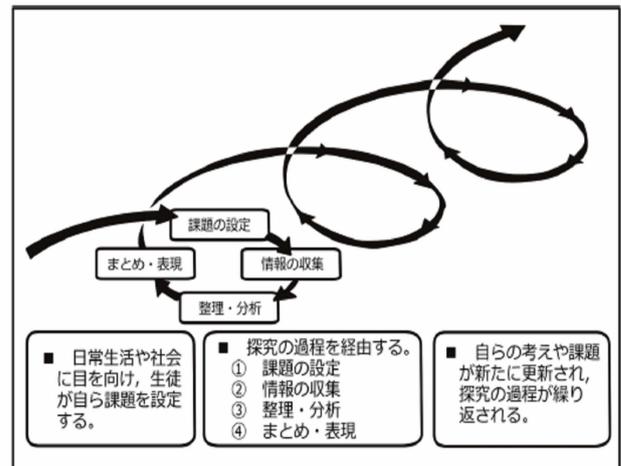
6月6日土曜日に、高校3年生は保護者と共に大学入試説明会がありました。高校2年生以下の学年の皆さんは、高校3年生になるとこのような説明会があるのだということを知っておいてください。また、高校生は本年度最初のテストである西チャレが実施され、これからは成績のことなども気になることでしょう。夏になりますと面談等が実施されますので、大きな行事のない今こそ、それぞれの段階に応じて、進路のことなどについても考えてもらいたいと思っています。

まず、中学生の皆さんは、自分の将来といっても、まだ漠然としているのではないのでしょうか。もちろん、研究者、医者、外交官など、目指す職業が具体的な人もいるかもしれませんが、これから考えるという人もいます。

中学生段階で、将来のイメージが漠然としているのは、ある意味当然のことです。小学校と比べると、急に世界が広がり、興味があることはどんどん増えます。また、心身の成長が著しいので、自分の方向性を何かに限定することが難しい時期です。まさに皆さんは「未知の我」です。創設の言葉どおり、「まず自分の中にある自分の知らない自己を発見するために全力でやってみる」のです。何でもいい、貪欲に様々なことをやってみてください。すると、世の中のことも少しずつ分かってきます。仕事にしても、

世の中には、実に多様な仕事があり、さらに新しい仕事が次々と生まれています。学問も多様で、こちらも日進月歩、大学の学部学科も実に多く、毎年変化しています。皆さんは、できるだけ様々な体験等を重ねながら、自分の中に最新の情報をインプットしてください。学校でも、キャリア教育等で、様々なことを考えさせる学習を実施しますが、まず、皆さんが主体的に、アンテナの感度を上げることです。中学の入学式式辞で話しましたが、アンテナの感度が高いと、宮崎西高校の生活で、様々なものがキャッチできます。勉強とまるで無関係のことでも構いません。皆さんのキャッチした、今は役に立たないように見える何かが、芽を吹くことがあるのです。

### 探究的な学習における生徒の学習の姿



学習指導要領解説 総合的な学習の時間「中学校編より」

この図は、文部科学省が示している探究的な学習における生徒の学習の姿を示したイメージ図ですが、将来の模索は、この探究学習のイメージに似ています。将来の目標が具体的で、直線的に目標に突き進んだ、例えばイチローのような人もいますが、一般的な人は、疑問を持ち、悩み、情報を収集し、その結果をもとに考えながら、少しずつ成長していくのです。さらに、このらせんループが、一つではなく、複数組み合わせさせて、台風のようにぐるぐる渦巻いているのが、実際の人間の姿ではないのでしょうか。だから、いろんな人の話を聞いて、いろんな体験を積んで欲しい。自分の感性を磨き、未知の我を求め

て欲しいと思います。

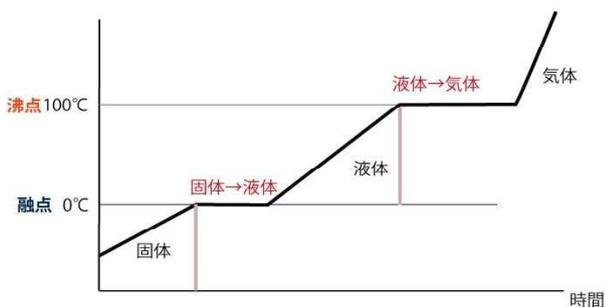
## □生徒の成長の姿(高校編)

次に、高校生の皆さんは、中学校段階を経て、将来に対する何らかのイメージを持ち、宮崎西高校を選んだのだと思います。あるいは、将来が具体的でないから、多様な進路選びに対応できる普通科を選んだという人もいるでしょう。発達段階は違っていても、「未知の我」である点は、高校生の皆さんも中学生と変わりません。ただ、「未知の我」ばかりだった中学生の頃より、自分が得意だったり好きな分野と、そうでない分野が見え始めていると思います。だからといって、自分の夢を成績で決めないでください。理想論かもしれませんが、まずは、夢を大切にしたいです。夢の達成のために必要な能力については、芸術やプロスポーツなど先天性の能力の要素が大きい分野については判断が難しいですが、一般的には、努力でカバーできます。

私の場合、高校の国語の教師を目指すという目標が具体的になったのは、高校2年生の頃でした。私はこの宮崎西高校で国語を教わった先生に感銘を受け、高校の国語の教師を目指しました。(その先生の話は後日話します) それでは私の国語の成績が良かったかという、そうではありません。好きでしたが得意ではない。でも、好きでしたので、勉強は苦痛ではありませんでしたし、大学でも、教員になっても国語を学ぶことは楽しみでした。自分が好きである、やりたいことであるということは、一生を支える基本的なエネルギーになります。

## □焦らず、諦めず、全力を尽くそう

多くの人が、自分の夢と成績のギャップに悩みます。もちろん、努力をするのですが、その過程で、焦り、諦める人が多いのも事実です。高校3年生の皆さんには「焦らない、諦めない」ことが大切であると伝えましたが、これはどの学年にも共通します。



これは、中学校で学習する物質の状態変化のグラフです。固体を加熱すると温度が上がりますが、その固体が液体に変わるとき、しばらく温度が一定のままグラフが上昇しない期間があります。そして、固体が液体に変わると、温度グラフは一気に上昇します。このグラフは水の状態変化ですが、私はこの

グラフの形は、人生における人の努力と成果の関係に大変良く似ていると思っています。「加熱は続けているのに温度は上がらない」という状態は、いわば「努力は続けているのに成果が出ない」状態です。スポーツでは、良くスランプといますね。ついこの間までヒットを量産していたバッターが急に打てなくなる。修正のための努力をやっているのに結果が出ない。そうなると、誰でもしんどいです。人によって、この平坦な期間は個人差があり、かなり長く続きます。しかし、諦めてはいけません。諦めずに努力し続ければ、あるとき、このグラフのように必ず劇的な変化が起きます。

これも個人的な話ですが、私は典型的な文系の人間で、数学は不得意科目でした。高校3年の7月の重要な模試で、致命的な点数を取り、もう国立大進学は難しいのではないかと落ち込みながら三者面談を受けた覚えがあります。それでも、諦めず努力したところ、当時は共通一次という試験でしたが、数学が自己最高点という結果でした。これは、自慢ではありません。そのときの私の数学の結果が良かったのは、単にその年度の試験が易しかっただけでしょうが、皆さんに言いたいことは、小学校の頃から算数、数学を苦手としていた私のような者でも、諦めず、地道に努力を継続すると、飛躍的に道が開けることが本当にあるということです。あのとき諦めていたら、今の自分はありません。励ましてくれた当時の宮崎西高校の先生方には本当に感謝しています。

今、皆さんは様々な面で「未知の我」です。努力を怠っているとは思いませんが、結果がでないからと焦らないことです。諦めないことです。また、皆さんがやるべきことは、勉強以外にもたくさんあります。家庭の一員、地域社会の一員として、果たすべき務めもあるでしょう。また、10代の若者として、今しかない感性も持っています。皆さんが、やるべきことをおろそかにせず、また、今しかできない感動も犠牲にせず、らせん階段を上るように、ぐるぐる遠回りをしながら、様々なものとの出会いを大切にしていけば、必ず、「未知の我」に出会えます。

創設の言葉を貫く精神は「努力」と「全力」です。(「全力」は3回も出てきます。)しかし、ひと言も「急げ」とは言ってません。焦らず、諦めず、努力を継続しましょう。

※宮崎西高校・宮崎西高校附属中学校経営方針よ

り「創設の言葉 未知の我を求めて」

- かけがえのない自己を尊重し、自己を伸ばすために全力を傾注する
- 自分の知らない、素晴らしい自己を発見するために全力で努力する